

日本共産党 和歌山市公議員

ひめだ高宏ニュース

No.1169

17.9.19

9月定例会市議会報告

秋風が吹くと同時に国会では、いかに解散風が吹き始めました。何か大嵐になりそうな予感がします。本号は、9月7日(木)の9月定例会市議会の私・ひめだの一般質問について報告します。

琴の浦(リビロセンター)進入路(歩道設置)

12年12月県議会で日本共産党の雅賢夫妻議員が琴の浦リビロセンターへの進入路について、歩道を設置すべきと質問し、仁坂知事が市と協議するとの答弁。13年6月市議会でも私が手順を質問、市は県からの申し出

が必要と答弁。14年6月に再質問し、市から県に協議することと要求。県と市が歩道の設置の必要性を認め両者が協議することと議会で答えたが、放置されています。その後、市長も担当局長も代わったことから度々の

質問をしてみました。

県議会でも道路拡幅の必要性を認め、県と協議を進めたいと求めました。

旭橋団地への進入路拡幅

国体道路から和歌川沿いに旭橋団地への進入路の拡幅について、14年6月市議会の質問で要求。当時、担当課から国体終了後に検討の話があったものの工事が始まらないため再度質問。担当局長は「旭橋団地への進入路の拡幅については、国体道路の三葛橋南詰め交差点から西に約150mの間において、局部的に道路幅員が狭く防護柵のない法面となっており、対向の際に注意が必要な箇所があるた

めると答弁。関西電力の空き地がある間に協議を進めることを求めました。

め、拡幅改良を行い、安全

今週のフリフリ人々

(3の115)

人生100年時代構想?!
テレビ時代劇で光秀に急襲された信長が「人間50年下天の内にくらぶれば」と「敢闘」を語り場面がよく出てきます。
日本の平均寿命の延びの要因は医療と食事、何よりも平和だと私は思います。戦いで若い世代が命を落とした時代は総じて短命でした。
しかし、憲法をないがしろにするアベ政権のもと長寿を望むに苦むない

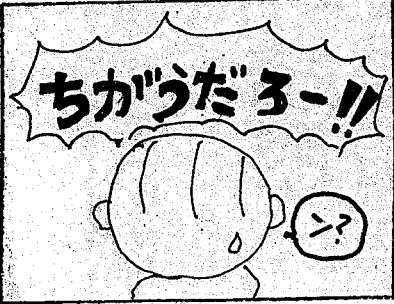
る安心して通行できる道路空間を構築する必要があると考え、現在、詳細設計に着手しており、今後、一部用地取得を含め拡幅整備を進める」と答弁しました。

状況です。政府はアベ首相を議長に「人生100年時代構想会議」を11日発足させました。「人生100年時代」に65歳からの年金支給は長すぎるとか、「生涯働け」とか言っていて、高齢者の医療・介護の負担(改善)を一層押し進めようというのです。憲法の系改定を許さず戦争放棄を守るべきですが、年金や医療、介護など国の責任放棄は許されません。



フリーの人々 (952)
人生100年だとして
高齢者の区分を
前期 65才～
中期 75才～
後期 85才～とし

年金と介護保険の
給付は75才から
後期高齢者医療は
85才からに
てきるんじゃないか?



ひめだ高宏

道路の浸水対策について

私、ひめだは道路の浸水対策について一般質問。下水道和歌川処理区は雨水と汚水を一緒に処理する合流式であり、公共下水の整備が進めば浸水対策が進みました。しかし、中央処理区以降は汚水の処理が中心で雨水はそのままに流す分

流式となっています。市内各所の浸水地域の改善の要望が多いことから浸水対策

について、市の基本的な考えを質問。具体的に三葛

未利用市有地の有効活用

市が土地開発公社による土地の先行取得をしたものの、事業をした残地とか、事業計画がなくなったものを計画当初の事業担当課が管理している未利用地が8課で一万2700㎡ありま

の医大看護学部付近、三葛バス停付近、内原の紀陽銀行付近の浸水対策の考え方を質問しました。

と処分が当該担当課に任せられていますが、本来の業務でないためなかなか進みません。私、ひめだは市民に利用してもらいたい土地の有効活用を自らの業務として専門的に考える部署を設けるべきだと提案しました。

日本共産党

つたと判断しました。総選挙は最短で10月10日告示、22日投票となります。

臨時国会冒頭に解散?!
日本共産党中央委員会常任幹部会は28日に召集される予定の臨時国会冒頭でアベ首相が衆議院を解散し、総選挙となる可能性がきわめて濃厚にな

と日本共産党のたたかいが進み込んだ結果にはなりません。今回の解散

場における絶好のチャンス。日本共産党は比例代表で850万票、15%以上をめざし、候補を擁護したすべの心算で選挙区で勝利をめざして全力で奮闘する決意です。

潮流

人生を大きく三つの段階に分けると？
もう聞かれたら、あなたはどう答えますか。学生時代、勤労の期間、退職後の余生。多くの人が頭を悩ませるのではないのでしょうか?教育↓仕事↓引退と、モデルのようにたどってきた道。しかし寿命が延びていくなかで、いままでの人生設計でいいのか。新しい生き方や社会を展望しよう。若者叩き上げ

「人生100年」の時代。人生を大きく三つの段階に分けると？もう聞かれたら、あなたはどう答えますか。学生時代、勤労の期間、退職後の余生。多くの人が頭を悩ませるのではないのでしょうか?教育↓仕事↓引退と、モデルのようにたどってきた道。しかし寿命が延びていくなかで、いままでの人生設計でいいのか。新しい生き方や社会を展望しよう。若者叩き上げ
「人生100年」の時代。人生を大きく三つの段階に分けると？もう聞かれたら、あなたはどう答えますか。学生時代、勤労の期間、退職後の余生。多くの人が頭を悩ませるのではないのでしょうか?教育↓仕事↓引退と、モデルのようにたどってきた道。しかし寿命が延びていくなかで、いままでの人生設計でいいのか。新しい生き方や社会を展望しよう。若者叩き上げ
「人生100年」の時代。人生を大きく三つの段階に分けると？もう聞かれたら、あなたはどう答えますか。学生時代、勤労の期間、退職後の余生。多くの人が頭を悩ませるのではないのでしょうか?教育↓仕事↓引退と、モデルのようにたどってきた道。しかし寿命が延びていくなかで、いままでの人生設計でいいのか。新しい生き方や社会を展望しよう。若者叩き上げ

赤旗 日刊紙 3497A/A